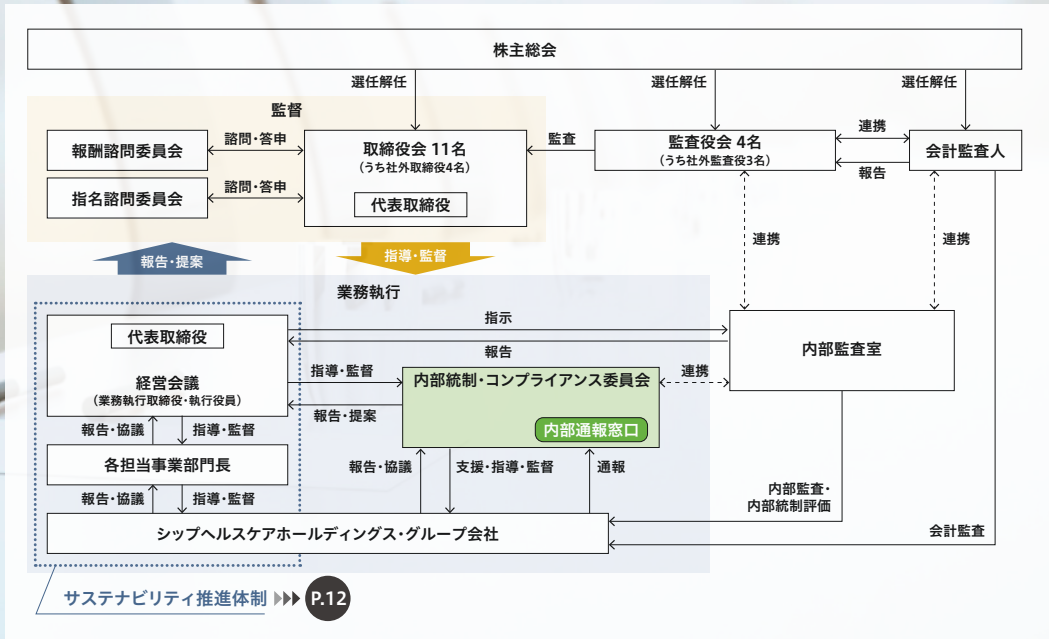
Governance

組織の未来と共に

シップヘルスケアグループがこの先も社会の持続可能性に貢献する存在であり続けるためには、グループ経営の要となるコーポレート・ガバナンスの強化が重要な課題であると考えています。「SHIP」理念に基づき、高い倫理観と責任感をもって行動し、さらなる企業成長を通じて企業価値の向上を図ることで、組織の未来と共に持続可能な社会を実現してまいります。

コーポレート・ガバナンス体制（2025年6月30日時点）

社外取締役が取締役の1/3以上を構成する取締役会の監督の下、代表取締役社長を委員長とする「内部統制・コンプライアンス委員会」を経営会議の直下に設置し、グループ全体のガバナンス向上を推進しています。



プライム企業としての中長期的企業価値向上

コーポレート・ガバナンスコードへの対応

持続的な成長を通じた中長期的な企業価値向上の実現に向け、コーポレート・ガバナンスコードに照らして定期的な見直し・強化を図っています。コンプライアンス及びリスクマネジメント体制の整備に加え、社内外の多様なステークホルダーとの建設的な対話、人権の尊重など、当社グループを取り巻く事業環境の要請に応え、社会的責任を果たすべく取り組んでいます。

グループ理念である「SHIP」は、『誠実な心と「情」の心を大切にし、真摯な革新者としての気概をもち、企業を取り巻くステークホルダーと共に社会に貢献すること』を意味しており、高い倫理観と責任感を持って企業価値向上に努める企業風土の拠り所となっています。経営陣・グループ全社員が「SHIP」理念と「企業行動基準」に則った行動を実践し、その取り組み姿勢に対して評価する仕組みを導入することで、グループガバナンスのさらなる向上を図っています。

内部統制・コンプライアンスの強化

「生命を守る人の環境づくり」というグループミッションのもと、生命に関わる社会的責務を担う企業集団として、内部統制及びコンプライアンスの強化は最も重要な経営課題であると認識しています。

内部統制・コンプライアンス委員会では、グループ各社の内部統制・コンプライアンスに係る実態把握に加え、ハラスメントの防止や公正な取引の推進、各種業法の遵守などを徹底しています。グループ共通の課題を「企業行動基準」に反映するなど、コンプライアンス意識の醸成に取り組むことで、レジリエントな組織づくりを推進しています。